

令和8年4月 市長への投書箱 投書内容と回答(投書者が公開を希望した案件のみ)

受付日	令和8年4月1日	担当所属	学校教育課
受付場所	メール		
件名	渋川高校と渋川女子高校の統合について		
投書内容	<p>渋川高校と渋川女子高校の統合について反対の立場である。両校の存在意義は渋川市にとっても財産であると考えている。統合については慎重に検討していただきたい。</p>		
回答の要約	<p>渋川高校と渋川女子高校の統合の議論に関しては、当該高校の生徒や地域の皆様、保護者、関係者の皆様から様々なご意見があることを真摯に受け止めています。</p> <p>本件は県教育委員会が所管する事項であり、過日の報道は、あくまでも例えとして挙げたもので、今後、検討委員会に設置されるワーキンググループにおいて議論を重ねた後に検討委員会で協議され、その方向性が示されることから、現時点において統合が決定されたものではありません。</p> <p>県においては、生徒数の推移や教育環境の充実、学校の在り方などを総合的に勘案しながら検討が進められていくものと考えています。</p> <p>市といたしましても、地域への影響や生徒・保護者の皆様の不安に十分配慮する必要があると考えており、今後も県教育委員会との連携を図りながら、適時適切な情報共有に努めてまいります。</p>		

受付日	令和8年4月1日	担当所属	都市政策課
受付場所	メール		
件名	公共施設(テニスコート)の利用料金について		
投書内容	<p>市営テニスコートの利用料金区分について、自主練習においてコーチが中学生を指導する際、これまで高校生以下の利用料金でコートを利用していたが、令和8年4月から一般料金に変更された説明があった。このことについて経緯等についての見解を示して欲しい。</p>		
回答の要約	<p>いただいたご意見につきまして、渋川市の都市公園等の管理を行っている公益財団法人渋川市まちづくり財団に状況を確認しましたところ、令和8年4月1日から通常料金とするのは、ご家族等で大人と一緒に高校生以下の子どもたちが利用する場合であり、今回のような子どもたちの自主練等においてコーチが指導する場合には、これまでどおり、高校生以下の利用料金とするとのことでありました。</p> <p>この度は、まちづくり財団から誤った連絡をしてしまったとのことで、混乱を招いてしまい、大変申し訳ありませんでした。</p> <p>今後、このようなことが起きないように、職員の資質向上を図るとともに、分かりやすく丁寧なご案内に努めてまいります。</p>		

受付日	令和8年4月6日	担当所属	教育総務課
受付場所	メール		
件名	小学生、中学生のスクールバスの検討について		
投書内容	半田に住んでいる。炎天下に自転車も送迎も駄目で徒歩での登下校は理解に苦しむ。スクールバスや公共バスの利用について検討してほしい。		
回答の要約	<p>渋川市では、遠距離を通学する児童生徒の利便を図るため、国や他市よりも大幅に緩和した基準を設け、通学バスを運行しているところではありますが、お住まいの地区は、その基準に満たないため、通学バスを運行していません。</p> <p>今回、御提案をいただきました公共バスの利用ではありますが、お住まいの地域には、渋川温泉～渋川スカイランドパーク線という公共バスの運行はあるものの、当該バス車両の乗車定員の課題等もあることから、直ちに公共バスを利用いただくことは難しいと考えています。</p> <p>また、古巻地区は交通量が多いこと等から、安全面を第一に考え、自転車通学については認めていません。</p> <p>しかしながら、保護者の送迎については、制限を設けていませんので、気象条件の厳しい日などは、適宜、送迎等をご検討いただくこともよろしいかと思えます。</p> <p>今回いただきましたご意見等も踏まえながら、引き続き、本市の子どもたちの教育環境の改善について、検討を進めてまいります。</p>		

受付日	令和8年4月9日	担当所属	市民課
受付場所	メール		
件名	市役所職員の対応について		
投書内容	市民課の窓口が空いているのに長時間待たされた。市民を待たせることのないようお願いしたい。		
回答の要約	<p>この度は職員の配慮を欠く対応により、ご不快な思いをおかけしまして、誠に申し訳ありませんでした。</p> <p>今回の事案を踏まえ、関係職員を含めた課員全員に対して、親切で丁寧かつ迅速に対応を心掛けるよう指導いたしました。</p> <p>今後、このようなことが起きないように職員の資質向上を図り、信頼回復に努めて参ります。</p>		

受付日	令和8年4月13日	担当所属	観光課 土木管理課
受付場所	メール		
件名	伊香保(水沢)への遊歩道の設置について		
投書内容	<p>渋川市伊香保町伊香保から伊香保町水沢につながる遊歩道を設置してほしい。 また、伊香保温泉ビジターセンターを観光客が利用しやすいように石段街近くに設置してほしい。</p>		
回答の要約	<p>渋川市伊香保町伊香保から伊香保町水沢を結ぶ遊歩道についてですが、市としては、主要地方道前橋伊香保線の伊香保町伊香保「ビジターセンター前」交差点から水沢を経由する区間約2.5キロメートルにおいて、群馬県が管理を行っている道路であるため、県に歩道整備を要望しています。</p> <p>歩道整備の考えを県に確認したところ、県では、児童の安全確保のため、通学路の歩道整備を優先する方針であり、事業箇所の見直し、選定を行っているとのことでした。</p> <p>市としては、引き続き、県の動向について注視していくとともに、利用者の安全確保が重要なことから、継続して要望して参ります。</p> <p>また、伊香保温泉ビジターセンターにつきましては、現在のところ移転の予定はありませんが、ご利用いただく方に、使いやすい施設のあり方を研究して参ります。</p>		

受付日	令和8年4月20日	担当所属	都市政策課
受付場所	メール		
件名	八木原駅舎の「意匠維持」と利便性向上の両立に関する要望		
投書内容	<p>八木原駅周辺の整備にあたり、バリアフリー化や周辺環境を整えることは賛成だが、その上で「今のレトロな駅舎のデザイン」を可能な限りそのまま残し、活かしていくことを強く要望する。</p>		
回答の要約	<p>JR八木原駅周辺整備事業は、本市と東日本旅客鉄道株式会社の共同で計画を進めており、現在は、駅の東西をつなぐ自由通路の工事を実施しています。そして、自由通路の完成後、駅舎の工事を実施することになります。</p> <p>東日本旅客鉄道株式会社では、既に、駅舎の設計を完成させていることなどから、現在のレトロな駅舎のデザインを新駅舎に取り入れることや、既存の設備をそのまま置き据えることなどにつきましては、難しい段階であると思われませんが、いただきましたご意見は、東日本旅客鉄道株式会社へお伝えさせていただきます。</p>		